

標本調査

政策専攻・経営学系専攻(B,M)基本科目
経営学系専攻(R)応用科目

水曜6限(18:30~20:00)
509セミナー室
担当:竹内恵行

4/13/05

1

授業目的

- 調査研究(フィールドワーク)で用いられる社会調査法の習得
- 具体的には、標本調査法(調査票調査)とその関連手法を学ぶ

4/13/05

2

履修要件

- 学部程度の統計学の知識があること。
- データに基づく「実証研究」に関心のあること。
- 統計学の知識に自信のない受講者は、木曜6限に開講される、「統計」(大屋教官)の受講を勧める。

4/13/05

3

教科書

- メインテキスト
盛山和夫(2004),『社会調査法入門』,有斐閣
(生協書籍部で入手可能)
 - 去年と異なるので注意。
- サブテキスト
Babbie, E. (2003), The Practice of Social Research, 10th ed., Wadsworth.
Babbie, E.(渡辺聡子監訳)(2003),『社会調査法1:基礎と準備編』,培風館(上記9版の邦訳)

4/13/05

4

参考書

- 佐藤郁哉(1992),『フィールドワーク』,新曜社 (必読のこと)
- 森岡清志(編著)(1998),『ガイドブック社会調査』,日本評論社
- 田尾・若林(編著)(2001),『組織調査ガイドブック』,有斐閣
- 盛山・近藤・岩永(1992),『社会調査法』,放送大学教育振興会
- 西平重喜(1985),『統計調査法 改訂版』,培風館
- 豊田秀樹(1998),『調査法講義』,朝倉書店
- Lave, C.A. and March, J.G. (佐藤嘉倫他訳)(1991),『社会科学のためのモデル 入門』,ハーベスト社

4/13/05

5

授業の進め方

□ 講義

知識を与えるだけでなく、実践できるような力を養成するために、以下の方法も活用

□ ケーススタディ

□ グループワーク(プロジェクト)

4/13/05

6

成績評価

- グループワークの報告およびレポート(50%)
 - 教員評価 + 受講生の相互評価
- 期末試験(50%)
 - 持ち帰り試験

4/13/05

7

質問A-1: 佐藤郁哉(1992)『フィールドワーク』より抜粋
自分にあてはまるものについて ○ × を付けてください

- 何でも数字におきかえなければガマンできない
- グラフや表が出てくるとわけもなく「科学的だ」と思ってしまう
- 物事を「狭く深く」というよりは「広く浅く」知りたい
- あいまいなことが死ぬほど嫌いだ
- なるべく効率よく仕事をしたい無駄なことは大嫌いだ
- うだうだと理屈をこねるのが何よりも好きだ

4/13/05

8

質問A-2

- ☐ 理屈なんか要らない、要するに「現場」に行っ
て肌で感じとれればいいんだと思っている
- ☐ 「徒弟制度」という言葉を聞いただけでジンマ
シンがでる
- ☐ 人と話をするのは大の苦手で嫌いだ
- ☐ メモをとるのは面倒くさくてイヤだ
- ☐ 原稿用紙20枚以上の文章なんてとても書け
ない

4/13/05

9

質問B

- ☐ 一見つまらないように見えることでも感心した
り感動できる
- ☐ 自分のことをつき放して観察できる
- ☐ ある程度いい加減でずぼらだと思ふ
- ☐ ある程度シツコクでクドい方だと思ふ

4/13/05

10